

成果報告書

(地域文化倶楽部創設支援事業)

大岡川はとば倶楽部2021

所在地	神奈川県横浜市	設立年	2017年
運営主体	一般社団法人横浜若葉町計画(若葉町WHARF)		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちに舞台芸術を中心とした文化芸術を体験してもらう。 ●コロナ感染症拡大の中、子どもやその家族も参加出来る企画を提供する。 ●各プログラムの講師を地域の文化施設スタッフ、文化団体のアーティストが担うことにより、子どもたちや、その家族に地域の文化資源に目を向けてもらうきっかけ作りを行う。 ●プログラムを部活動や課外活動と連携させ地域に根付かせると共に、本事業を地域的に子どもたちを支える事業として発展させることで学校の教員の負担の軽減を目標 		
きっかけ	<p>本地域においては文化施設が多くあり、子どもたちを対象とした企画も各施設で行われているが、一方で舞台芸術を地域の子どもたちに提供している施設や団体は少なく、また施設間の事業連携も活発には行われているわけではない。その中で本法人は劇場を運営しており、また地域の文化施設との連携事業も行っていたため、子どもたちに舞台芸術に親んでもらい、子どもたちを地域で支える仕組みを作る本事業を企図した。</p>		
団体・組織等の連携			
活動場所	<p>法人所有の施設【若葉町WHARF】 近隣映画館【シネマ・ジャック&ベティ】 近隣中学校(横浜市立吉田中学校)</p>		
活動概要	<p>地域の子どもたちを対象とした10プログラム全24コマの主に舞台芸術に親んでもらう「大岡川はとば倶楽部」という有料と無料のワークショッププログラムを行った。初年度の参加は有料プログラムに関しては応募を取り、無料プログラムに関しては子どもを中心に年齢を問わず地域居住者を含めて自由参加とし子どもたちと地域の交流の場所として活用した。</p>		

○本事業による成果

従来の活動の成果のみではなく、本事業を実施したことにより得られた成果について記載すること。(数値やグラフで示すものがあれば望ましい)

- 総参加人数350名(無料自由参加プログラム含む)
- 地域参加率(横浜市内)85%
- 横浜市内文化施設・横浜市内活動団体との5施設5団体
- 近隣小中学校との連携中学校1校、小学校3校
- 近隣中学校との共同事業1事業
- 総参加人数 450名(無料プログラム含む)
- プログラムで子どもたちが撮影した映画1作品が近隣の映画館の予告編時に上映された。
- 本事業は地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業の一環であるが、地域部活動推進事業も担うことが出来るハイブリットなものとして考えている、2021年度は近隣の中学校の美術部の活動の一部として本事業の活動を行い、作品を中学校の文化祭に展示した。コロナ感染症の中、部活動もなかなか実施することが出来ない中で具体的な創作プログラムを持ち込んだ本事業について教員の方からは「来年も続けてほしい」という声を頂いている。
- 報告冊子の代わりにWebページによる活動報告を行うことで、事業の成果について広く宣伝をすることが出来、また今後の事業の宣伝や地域連携活動に利用することが可能なプラットフォームの構築が出来た。
- 本事業をきっかけとした近隣中学校との交流の中で、文化祭における演劇プログラムへの本法人の協力を中学校と協議している。

○児童・生徒への指導に関する工夫

指導を行う上で独自で工夫していることについて記載すること。

- 有料プログラムについては参加人数を最大10名とし、子どもたちの「やりたいこと」「興味があること」を先にメール等で聴いてプログラム内容を講師と相談の上、実施している。
- 劇場の技術(音響や照明など)をプログラムに活用し、いつもの学校での活動とは違う体験をしてもらうようにしている。
- 演劇におけるコミュニケーションワークショップの技法をプログラムに盛り込み、通常の体験プログラムに留まらない子どもたち同士、子どもたちと講師、子どもたちと地域との交流を生み出すようにしている。

○運営上の工夫

運営上、工夫している点を記載する。

- 講師の選定に関しては地域の連絡会議による推薦や講師の地域活動などを見て行い、プログラムの質を担保している。
- 基本的に講師は地域で活動する方、地域で顔を合わせる方をお願いをしているので、打ち合わせ等は十分な時間を取り、また講師の目から見た地域の子どもの様子などを参考にしながらプログラムを実施している。
- 活動に関しては町内会の協力のもと、近隣の小中学校の集まりで本事業を紹介させて貰い、近隣の小中学校の全校生徒にプログラムパンフレットを配布している。また連携事業を行っている施設での紹介も行って頂いている。
- 運営に関しては劇場ガイドラインに則った運営を行い、劇場技術を使用する場合は必ず専属の技術スタッフの立ち会いのもとで行っている。
- 企画監修・コーディネートを30年以上演劇ワークショップを実践してきた佐藤信に依頼し、事前相談、事後のアドバイスを貰うとともに、講師や地域でもプログラムについての検討・報告・意見交換を行い内容の質的向上に努めている。
- コロナ感染症拡大、また神奈川県緊急事態宣言など事業を延期・中止にしないで済まない事態も起こった

○継続的な運営に関する課題・展望

活動場所、指導者、活動経費、教育機関や地域等との連携等、様々な観点からの課題と展望を記載する。

- 近隣文化施設との連携を強化しプログラムの質的向上と図るとともに、地域における子どもたちの放課後や休日の過ごし方として「徒歩圏内にある文化施設」という新しい可能性を醸成する。
- 本地域は海外から日本にきた中国や東南アジア圏の子どもたちが多く居住し、経済的に厳しい家庭も多い。それらの子どもたちにも広く参加の門戸を開いておくため、参加料金や会費を高く徴収することはせず、無料プログラムを有料プログラムと同時に進行など地域的ニーズにあった運営を行いたい。
- 地域部活動推進の観点から近隣の中学部活動の一部を本事業のプログラムとして負担するとともに、中学生に運営スタッフ等として参加を促すとともに、子どもたちが子どもたち同士で支え合うような交流を作り出す。
- 会場としては法人施設を利用しており実質的な会場費は掛からないが、潜在的な会場費(施設貸与時の料金6万円)を含めると大幅な赤字であり、今後の資金調達が仮題である。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

上記の課題をどのように解決し取り組んでいくのか、方針や計画を記載する。

- 現在、地域の文化施設と協議しているのは近隣の文化施設で行われる子供向けのワークショッププログラムや企画について総合のパンフレット、もしくは地域の子供向けの企画をまとめたwebサイトを作成することを検討している。
- 有料プログラムで行った成果展示や発表に合わせて一部のプログラムを無料で体験出来るイベントを企画している。
- 中学との連携事業、演劇部への協力事業を行うことを検討している。その講師やスタッフを近隣の文化団体や劇団に依頼し、地域における人材の育成に努めるとともに、地域的な文化芸術の醸成に寄与する。
- 本事業の主な対象は小学生ではあるが、2021年度の事業を通じて大人を参加者としても含み込めることが分かった。また多くのプログラムで大人からの参加の問い合わせも多数あった。検討中ではあるが大人にも参加の門戸を開き、参加費に関しては子どもを低価格で抑え、大人を実際に運営に必要な金額を徴収する企画があっても良いと感じている。

※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。

※『地域移行(展開)を進める際のポイントチェックリスト』を参照すること。

参加者 (予定人数)	主な対象学年 小学3年生～小学6年生(プログラムによって変動有り・地域住民参加含む) 712名 今後の参加予定人数(有料・無料プログラム合算) 700名前後
募集方法	全体パンフレット配布(近隣小学校3校1500名、演劇団体10団体、近隣施設10施設) 企画チラシ配布(近隣小学校3校1500名、近隣施設10施設)
指導者	企画監修1名、コーディネーター1名、近隣で活動している講師15名 補助スタッフ5名、当日運営スタッフ1名
移動手段	保護者による送迎
活動費用	有料プログラム 500円/1プログラム

スケジュール	<p>4月20日～5月10日 プレ造形プログラム「巨大鯉のぼりを泳がせよう！」参加人数160名 7月20日 全体パンフレット配布(近隣3小学校1500部) 8月13日～8月15日 演劇プログラム「ぼくらの青い海」参加人数8名 8月13日～8月15日 造形プログラム「くじらの夢」参加人数10名 8月17日～8月19日 近隣中学校美術部連携プログラム「くじらの夢」参加人数50名 8月25日・8月26日 体験型展示「くじらの見た夢」参加人数80名 9月1日・9月2日・9月3日 体験型展示「マスクの小さな逆襲」感染症拡大の状況を鑑み延期 9月4日・9月5日 美術プログラム「ストーリー・ライティング」感染症拡大の状況を鑑み延期 9月5日・9月26日 演芸プログラム「落語を体験しよう！」感染症拡大の状況を鑑み延期 10月1日・10月2日・3日 体験型展示「マスクの小さな逆襲」9月延期プログラムを法人のプログラムと連動させて実施 参加人数60名 10月9日・10月10日 パントマイムプログラム「パントマイムで遊んでみよう！」参加人数8名 10月14日～10月17日 近隣中学校文化祭にて連携プログラムで創作した作品を展示 10月16日・10月17日 映像プログラム「映画に挑戦！町の映画を撮ろう！」参加人数6名 10月28日～10月31日 体験型展示「はとばフェスティバル2021」参加人数120名 10月30日～10月31日 ダンスプログラム「はとば体操」参加人数7名 2月11日～ 無料配信プログラム「らくごをたいけん！～弟子入り編～」9月延期演芸プログラムを近隣小学校1500名を対象に無料配信 3月10日現在108回視聴 2月17日～2月20日 体験型展示「森のキャンピング」9月延期美術プログラムを無料体験型展示に変更して実施 参加人数80名 2月22日「大岡川はとば倶楽部」報告・意見交換会 参加施設8施設 参加団体4団体 参加人数15名</p>
保険加入等	劇場施設で加入している施設イベント保険を活用

※文化庁ホームページ:地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた検討会議 事例集を参照

掲載URL

(https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/92801101_09.pdf)

※それぞれの項目に掲載しているのはあくまで例示ですので、掲載しているもの以外の観点等で自由に記載していただいて結構です。ただし、どこかの項目に学校の働き改革(教員の負担軽減)を踏まえた観点の記述を必ず入れていただきますようお願いいたします。(本事業の最大の目的であるため)

【活動の様子 (写真添付)】
